

2 健康寿命について

平均寿命が延びている中で、単に寿命が延びるだけでなく、健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間である健康寿命が延びることが重要となっていることから、計画の基本目標として下記のとおり健康寿命の延伸を掲げている。

目標項目	健康寿命の延伸
指標	健康寿命（日常生活に制限のない期間の平均）
現状	健康寿命 男性 69.96年 女性 72.19年 （平成22年） （参考）本市の平成22年平均寿命 男性 79.93年 女性 86.86年 国の平成22年健康寿命 男性70.42年 女性73.62年
目標	平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加 国の平成34年度の健康寿命を上回る （平成34年度）
データソース	厚生労働科学研究「健康寿命における将来予測と生活習慣病対策の費用対効果に関する研究」 厚生労働省「国民生活基礎調査」

(1) 健康寿命と平均寿命の推移

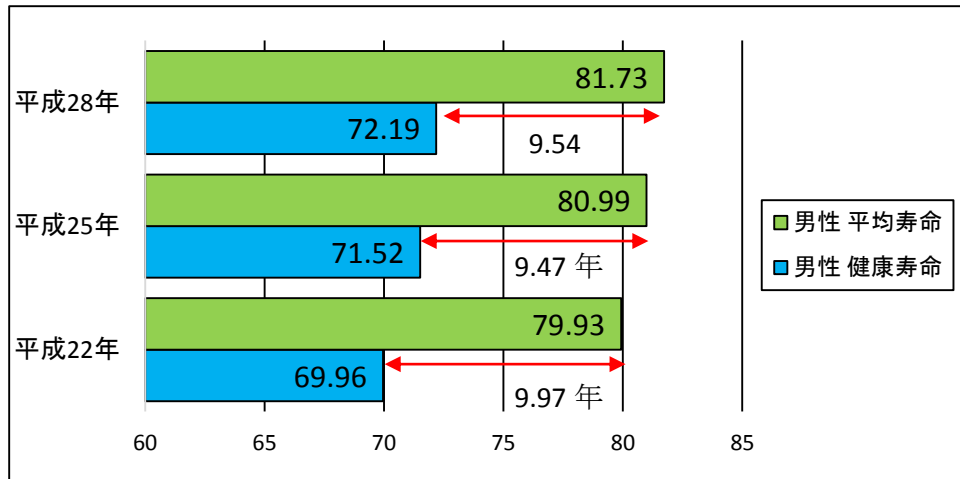
（男性）

	平成 22 年 (策定時)	平成 25 年	平成 28 年 (直近)	策定時と直近の差
平均寿命 (A)	79.93	80.99	81.73	1.8 年
健康寿命 (B)	69.96	71.52	72.19	2.23 年
(A) - (B)	9.97	9.47	9.54	-0.43 年

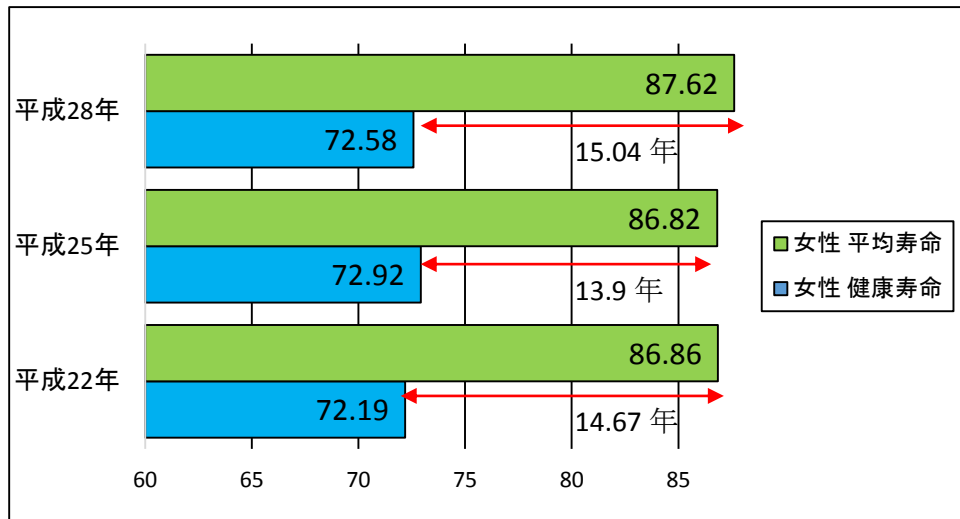
（女性）

	平成 22 年 (策定時)	平成 25 年	平成 28 年 (直近)	策定時と直近の差
平均寿命 (A)	86.86	86.82	87.62	0.76 年
健康寿命 (B)	72.19	72.92	72.58	0.39 年
(A) - (B)	14.67	13.9	15.04	0.37 年

(男性)



(女性)



(2) 健康寿命の中間評価

平成 28 年の平均寿命は、策定時から男性で 1.8 年、女性で 0.76 年増加している。

平成 28 年の健康寿命は、策定時から男性で 2.23 年、女性で 0.39 年増加している。

平成 22 年から平成 28 年の男性の健康寿命の伸びは平均寿命の伸びを上回っているが、女性の健康寿命の伸びは平均寿命の伸びを下回っている。

(参考) 健康寿命について

健康寿命とは、健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間をいう。

健康寿命には様々な算定方法があるが、本市では、国や広島県に準じて、「日常生活に制限のない期間の平均」を健康寿命の指標とした。

この指標は、国と同様に、国民生活基礎調査において「あなたは現在、健康上の問題で日常生活に何か影響がありますか」という質問に対して「ない」という主観的な回答をした者を日常生活に制限がない者とし、人口、死亡数を基礎情報として、厚生労働科学研究「健康寿命における将来予測と生活習慣病対策の費用対効果に関する研究」の「健康寿命の算定プログラム」により算定している。